

参加費…無料(当日のみ)

※8月より毎週、土曜日・日曜日に前記の場所で講演会を開催します。木戸銭500円をいただきます。

※問合せ先…あきない中心倉

(☎22-0660)

三徳山開山1300年祭 三徳山ライトアップ ウィーク

三徳山の夜を幻想的に彩る「三徳山ライトアップウィーク」が、8月11日から始まりま

す。三佛寺境内のお堂や巨木が漆黒の闇に浮かび上がり、万燈が連なる光の世界。

11・12日は、打楽器・ギター・シンセサイザーなど、ステージイベントも開催します。

期間…8月11日(金)～17日(木)夜7時～10時

(ステージ)11・12日…午後7時30分～9時30分

会場…三徳山三佛寺境内

※倉吉駅から無料シャトルバス運行。(11・12日)

倉吉駅発 午前7時～9時

※問合せ先…三徳山開山千三百年祭実施委員会(三朝町地域振興課)

教室・講座

夏休み子ども弦楽学校

参加者募集

全国の第一線で活躍している演奏家をお招きし、日ごろから弦楽器に親しんでいる子どもたち、これから学んでみたい子どもたちを対象とした公開レッスン・ワークショップ・コンサートを開催します。

とき…8月10日(木)～12日(土)3日間

※ワークショップ・コンサートは12日のみ

ところ…倉吉未来中心ほか

対象…3日間を通して参加できる県内在住の小中高校生

で、課題曲に意欲を持って取り組める人(公開レッスン)

【課題曲…初心者・初級コース/「エーデルワイス」、中級コース/「シンプルシンフォニー」】

受講料…楽譜代・バス代など

の実費の一部負担

募集人数…初心者・初級コース/中級コース 共に

第1ヴァイオリン、第2ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ各10人 コントラバス 5人

講師…第1ヴァイオリン 玉井 菜採さん、第2ヴァイオリン 日比浩一さん、ヴィオラ 馬淵昌子さん、チェロ 丸山泰雄さん、コントラバス 新 真一さん

申込方法…定められた募集要綱があります。お問い合わせください。

※問合せ先…青少年弦楽育成活動支援事業実行委員会(県文化政策課内) (☎0857-26-7839 / ☎0857-26-8108)

「夏休み親子国際理解教室」参加者募集

主催…財鳥取県国際交流財団

協力…倉吉市

◎8月2日(水)

午前10時～午後2時

「本場の中華料理に挑戦しよう!」/「中国料理の紹介」

「メニュー」餃子、カニとマトの玉子とじ、きゅうりのあえもの

講師…張 永威さん(中華料理店「北京勤務」)

対象…小学4～6年生

◎8月10日(木)

午前10時～午後2時

「韓国料理を作ってみよう!」/「韓国文化の紹介」

ミ、ファチエ(スイカを使ったデザート)

講師…金 善夏さん(倉吉市国際交流員)

対象…小学1～3年生

場所…中国電力倉吉営業所

調理室(倉吉市駄経寺町)

定員…各回10組(20人)

※親子での参加を原則とします

参加費…500円(親子で)

申込期限…7月26日(水)まで

※申込み多数の場合は、賛助会員の人を優先し、抽選とさせていただきます。

※申込・問合せ先…(財)鳥取県国際交流財団(☎23-5931 / ☎23-5932)

バドミントン教室

参加者募集

10月22日から24日に、倉吉体育文化会館で、スポレク鳥取2006・年齢別バドミントンが開催されます。このスポレク祭への関心を高めてもらうため、子どもから大人までを対象にバドミントン教室を開催します。

とき…7月25日(火)・28日(金)・8月1日(火)・15日(火)・18日(金)・22日(火)・29日(火)・9月1日(金)・5日(火)・15日(金)

計10回 午後8時～10時

ところ…県立倉吉体育文化会館

講師…打吹スポーツクラブ

参加費…小中学生・100円、高校生以上200円/回

※申込・問合せ先…NPO法人倉吉市河北地区スポーツクラブ

(☎・☎22-9786)

※この事業は鳥取県企画提案型協働補助事業で実施しています。

有料広告

平成18年度鳥取県産業振興機構 経営革新アドバイザーです

ホームページ制作・相談

Web鳥~みんぐ

http://www.treaming.net

インターネットでお店の紹介
突撃とりん 5900円

鳥~みんぐ本社: 倉吉市瀬崎町
お問い合わせ TEL:0858-23-2949

気軽にご連絡ください
配送いたします!

値下げ中!

■コシヒカリ 3,000円 → 2,800円/10kg

■コシヒカリブレンド米 2,600円 → 2,500円/10kg

秋本農園

0120-366220
倉吉市大塚 ☎/FAX 26-4128

広告募集中心!! 倉吉市秘書広報課
(☎22-8160 FAX 22-8144)



みんなのあんしんファイル

保健事業に関するお問い合わせは、健康支援課 (TEL26-5670 / FAX26-5660)

種類	対象	日程	時間	場所	持参する物	ご案内
6ヵ月児健康診査	平成18年1月生まれの乳児	8/1(火) 8/2(水)	(受付時間) 13:00~13:40	(市保健セ)	・母子健康手帳 ・アンケート用紙	*保護者に通知します 当てはまる月の次の月まではご案内しています。
1歳6ヵ月児健康診査	平成17年1月生まれの幼児	8/3(木) 8/4(金)				*保護者に通知します 1歳11ヵ月までは受けることができます。未受診の幼児は受けてください。
3歳児健康診査	平成15年7月生まれの幼児	8/8(火) 8/9(水)				*保護者に通知します 3歳11ヵ月までは受けることができます。未受診の幼児は受けてください。
育児相談	生後5ヵ月以上の乳幼児	8/21(月)	9:00~11:00	(市保健セ)	・母子健康手帳	保健師・栄養士(午前中のみ)による個別相談を行います。
	生後5ヵ月までの乳児	8/21(月)	13:30~15:30			
母親学級(えっくクラブ)	市内在住の妊婦	8/25(金)	13:40~15:40 (受付時間) 13:10~13:30	(市保健セ)	・母子健康手帳	内容:仲間づくりコース(妊婦体操・歯の話)
フッ素塗布	市内在住で希望する人	8/26(土)	(受付時間) 13:30~15:30	(中部口腔セ)	・歯ブラシ ・コップ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。申込が必要(申込先:口腔衛生センター ☎ 22-5472)
		8/31(木)	9:30~11:30 13:30~15:30	(市保健セ)	・歯ブラシ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。

■ 場所 (市保健セ): 倉吉市保健センター(伯耆しあわせの郷内)、(中部口腔セ): 中部歯科医師会口腔衛生センター

BCG予防接種 日程表

該当児	今回通知児	BCG	受付時間	場所
生後6ヵ月未満未接種児(平成18年2月25日生まれ以降)	平成18年4月27日~5月23日生まれ	8月24日(木)	13:10 ~ 14:10	倉吉市保健センター(伯耆しあわせの郷内)

休日の診療機関当番表

受付時間: 午前8時~翌朝午前8時
実施日: 日曜日

8月	日にち	内科	外科
	6日	野島病院	厚生病院
	13日	信生病院	清水病院
	20日	垣田病院	北岡病院
	27日	藤井政雄記念病院	清水病院

広告募集中!!
倉吉市秘書広報課
TEL 22-8160 FAX 22-8144

CALL SUPPORT
http://www.callsupport.co.jp/

NTTコールセンター コールセンタースタッフ

充実の研修!!
初心者歓迎!
年齢不問!!



倉吉市誘致企業

15名募集!!

勤務時間

9:00~21:00
(内、1日3時間~8時間)
時間・休日・選択自由!!

時給

時給 1,000円~



未経験者でも大丈夫!!

募集要項 ●年齢/不問(18歳以上) ●定休日/完全週休2日制 ●諸待遇/交通費(上限2万/月)各種社会保険完備

(株)コールサポート

受付時間: 平日9:00~20:00
住所: 倉吉市住吉町60番5 NTT倉吉ビル

お気軽にお電話下さい!!

0120-465-951

有料広告

食中毒にご注意を！

暑くなってきました。気温が高くなるこれからの時期には、食中毒の原因となる細菌が繁殖しやすくなりますのでより注意する必要があります。次のことに注意して食中毒予防に努めましょう。

- ① 買入物をするときは、新鮮なものを選びましょう。
- ② 冷蔵庫の温度は10℃以下、冷凍庫はマイナス15℃以下が目安。十分に冷気が行き渡るよう、詰めすぎに注意。目安は7割程度です。
- ③ 調理を始める前には、よく手を洗いましょう。また、まな板などの汚れが落ちにくい場合は一度熱湯で消毒後、ご使用を。
- ④ 火を通して食べる食品は十分に加熱を。(中心部を75℃で1分以上加熱すると、ほとんどの食中毒菌は死滅します)また、調理した後の食品は、室温で長く放置しないように。
- ⑤ 盛り付けするときは、清潔な手、器具、食器で。
- ⑥ 残った食品は、早く冷えるように浅い容器に小分けして保存し、時間が経ちすぎたら思い切って捨てましょう。

毎月19日は「食育の日」

少なくとも週1回は、家族そろって、楽しく食卓を囲んでみてはいかがでしょうか



生活設計セミナー(無料)「中高年齢者の健康問題」

とき.. 8月10日(木) 午後1時30分~3時

ところ.. 倉吉シティホテル

テーマ.. 中高年齢者の健康問題

対象者.. 概ね45歳以上の中高年齢者、事業所の人事・労務担当者

定員.. 30人 *要事前申込み

※問合せ先.. (社)鳥取県高齢・障害者雇用促進協会 (TEL) 0857-13610039 / FAX 0857-12613351

とんどの食中毒菌は死滅します)また、調理した後の食品は、室温で長く放置しないように。

*一番は、食中毒菌に負けないような強い体を作ること！毎食規則正しくバランスのよい食事をとりましょう。

※問合せ先 健康支援課 (TEL) 26-5670

生活設計セミナー(無料)「中高年齢者の健康問題」

とき.. 8月10日(木) 午後1時30分~3時

ところ.. 倉吉シティホテル

テーマ.. 中高年齢者の健康問題

対象者.. 概ね45歳以上の中高年齢者、事業所の人事・労務担当者

定員.. 30人 *要事前申込み

※問合せ先.. (社)鳥取県高齢・障害者雇用促進協会 (TEL) 0857-13610039 / FAX 0857-12613351

8月の認知症「家族の集い」案内

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。

気軽にご参加ください。

◎とき.. 8月4日(金) 午前10時~12時

ところ.. 倉吉市高齢者生活福祉センター(関金町)

(TEL) 45-3888 / FAX 45-2533

◎とき.. 8月17日(木) 午前10時~12時

ところ.. ヘルパーステーション蔵まち(幸町)

(TEL) 24-0371 / FAX 24-0372

※申込・問合せ先 長寿社会課 (TEL) 22-7851 / FAX 22-7020

献血にご協力ください

【成分献血】

期 日	場 所	時 間	申込期限
8月7日(月)	中部総合事務所	9:00~12:00	8月1日(火)

※申込・問合せ先 中部総合事務所 福祉保健局 健康支援課 (TEL) 23-3144

【成分献血】

期 日	場 所	時 間
7月24日(月)	パープルタウン	11:00~17:00

※申込・問合せ先 鳥取県赤十字血液センター (TEL) 0857-24-8101

【全血献血・成分献血】

期 日	場 所	時 間	申込期限
7月30日(日)	鳥取県立倉吉未来中心	10:00~15:00	※成分献血にご協力いただける人は事前に申込が必要です

※申込・問合せ先 鳥取県赤十字血液センター (TEL) 0857-24-8101

広告募集中!! 倉吉市秘書広報課 (TEL) 22-8160 FAX 22-8144

補聴器

聴力測定室 完備 点検・調整 いつでもOK

福祉法補聴器から最新デジタル補聴器まで

メガネのイワマ

倉吉市鍛冶町 ショッピングセンターめいりん内 TEL 0858-22-5551 営業時間 あさ9時~

天国への引出物

故人へのおもい 冊子でかたちに

- 法事の席で「故人を偲び、語るキッカケ」として作成します。
- 亡き父・母・夫・妻・子の思い出を和紙に彩り、表装には家紋を入れ、シンプルな冊子に仕上げます。
- ぜひ遺善供養(一周忌、三、七...三十三回忌など)に役立ててください。

※趣味の本(俳句、絵手紙、書家、詩、短歌など)も作成します。

イトウ企画 (問合せ・連絡は FAX でお願ひします)

TEL (0858) 26-2674 FAX 26-2674 携帯 090-7504-2101

ホームヘルパーのまごころサービス 紙おむつ宅配便

約1ヵ月分のおむつ・パンツを定期的にご自宅へお届けします。また、排泄ケア困りごと相談も受付中!! 気軽にお電話ください

排泄ケア介護相談室 ライフサポートくらし

倉吉市宮川町188-9たからや1F (TEL) 22-4550

有料広告

若者の定住化に向けて

キラ★リ

No.3

やまね ひろたか
山根 大和さん (アトリエやまと)



★**お仕事は?** —— 画家です。自宅にアトリエを構築、絵の制作をしています。絵画教室もやっています。

★**京都のアート事情** —— 昨年まで11年間、京都で活動をしていました。京都は若者主導のアートイベントが盛んで、画廊や美術館だけでなく、古い町屋・公園・お寺や神社・商店街など、身近な場所で行っているのが特徴です。京都も中心部の空洞化が深刻ですが、若者が街の再生にアイデアを出し、地元に着目した創作活動にがんばっているの、地元の人も最先端のアートを娯楽として楽しみ、精神的に潤います。そして、若者が元気なので街に活気があります。

★**倉吉に戻ってきて** —— 倉吉に戻ってきて、まず感じたことは若者の元気な姿が見えないことと、商店街に人が歩いていないことでした。ひどく寂しい思いがしました。しかし倉吉は、小京都として有名なほど町並みに風情があり、伝統文化にも恵まれています。それを生かしながら、若い人たちが地元に着目した新しいアート文化を創造できれば、街にもぎわって来ると思います。僕は今後、赤瓦や白壁土蔵を舞台に新作絵画を描いて発表する予定です。さらに、ジャンルを超えて若い芸術家を集め、何かできればと思います。

★プロフィール：昭和49年生まれ／倉吉市出身／京都造形芸術大学卒業／講談社メルヘンイラストコンテスト2年連続優秀賞・倉吉市美術展市展賞・二紀展など入選多数

市では、第10次総合計画の重点課題である若者の定住化の実現に向けて、若者をはじめとする市民の皆さまと意見交換を行うため、「若者の定住化を考えるシンポジウム～若者の定住化を促進するためには～」を開催します。皆さま、ふるってご参加ください。

とき 8月8日(火) 13:30～17:00

ところ 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール

日程

【第1部】13:30～15:20

- ①重点課題「若者の定住化」の概要説明
- ②重点課題の解決に向けた主要事業の概要説明
- ③質疑応答

【第2部】15:30～17:00

- ④若者の定住化に向けたパネルディスカッション
若者の定住化促進をテーマとした地元高校生、県市外大学生、30代前後の若者、市内事業所の人事担当者などによる討論ならびに参加者との意見交換

*参加自由

※問合せ先 企画課 ☎22-8161/E-mail: kikaku@city.kurayoshi.tottori.jp

「若者の定住化を考えるシンポジウム」を開催します

編集後記

■1歳の我が子が、プール熱にかかりました。プール熱を引き起こすのは、アデノウイルスで、SMAPの中居さんもこのウイルスに感染されたことTVで放映していました。とくにウイルスに対する抵抗力や免疫を作る力が弱い子どもや高齢者が感染、発症しやすいそうです。これから夏に向かい健康管理には気をつけたいものです。(H.T)

■最近の印象深い出来事。夜、車を運転していると、草の茂みから小さい猫が飛び出てきて、慌てて急ブレーキ。見ると、猫はこわくて動けなくなっています。車から降りて近寄ると、ビックリした子猫は逃げ出し、道路わきの水路にポチャン！無我夢中で逃げたので、水に落ちてしまいました(T.T)——幸い子猫は自分で水から上がり逃げたので少しホッとしました。(K.F)

●倉吉市の人口(基本台帳)

24,856人(← 28)男
27,593人(← 16)女
52,449人(← 44)計
20,194世帯(← 3)

●外国人登録者数

113人(← 2)男
265人(← 7)女
378人(← 9)計
317世帯(← 10)
(H18.6.30現在)

めでたかったです。また作品の内容も、今回初めてコンピュータによる作品を出品したこともあり、バラエティに富んだものとなりました。表彰式では、市展賞を受賞した宮野聡子さん、米田亜樹さん、奨励賞を受賞した大石陽子さん、中山奈津子さんが出席し、緊張した面持ちで教育長から賞状を受け取っていただきました。作品の出品にあたっては、学生たちは休日返上で制作に取り組んできたこともあり、今回の受賞を大変喜んでいました。

この「手づくりまつり」は、子どもたちにも手づくりの楽しさを体験してほしいとの思いから始まったもので、学生スタッフの主な役割は当日の参加者へのものづくりの指導と、そのための分りやすい教え方の研究や材料・道具の調達などの事前準備でした。当日は1,500人もが来場し、とりたんの学生たちが中心になった「クレープ」づくりの感想は「自分で作ったクレープができました」



おいしいクレープができました

準備や当日の運営では、講師のみならず、他大学の学生との連携、交流もあり、いろいろな人とかかわることの楽しさ、大切さも学生たちは学んだようです。

祝！受賞

第52回倉吉市美術展覧会で生活学科住居・デザイン専攻2年生がデザイン部門に作品を出品。市展賞、奨励賞を各2人が受賞、6人が入選するという、近年最も多い受賞、入賞数となりました。



また作品の内容も、今回初めてコンピュータによる作品を出品したこともあり、バラエティに富んだものとなりました。表彰式では、市展賞を受賞した宮野聡子さん、米田亜樹さん、奨励賞を受賞した大石陽子さん、中山奈津子さんが出席し、緊張した面持ちで教育長から賞状を受け取っていただきました。作品の出品にあたっては、学生たちは休日返上で制作に取り組んできたこともあり、今回の受賞を大変喜んでいました。

「手づくり」の楽しさを実感！

去る6月10日、鳥取県立県民文化会館を会場に開催された「因幡の手づくりまつり」(子ども遊びと手の労働研究会、鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学(主催)に本学の学生もスタッフとして参加しました。

鳥取短期大学

キャンパス だより 127



「子どもたちに教えながら作るの楽しかったし自分の勉強にもなった」と満足した様子でした。そのほかのコーナーでもきびきび動く学生たちの姿が見られ、木の板を糸鋸(のこ)で切って作る「ジグソーパズル」を担当した学生は「最初は糸鋸が上手に使えなかった子どもたちが、やっていくうちにどんどん上達していき、びっくり！そして感動!!」と、ものづくりの素晴らしさを実感したようでした。